

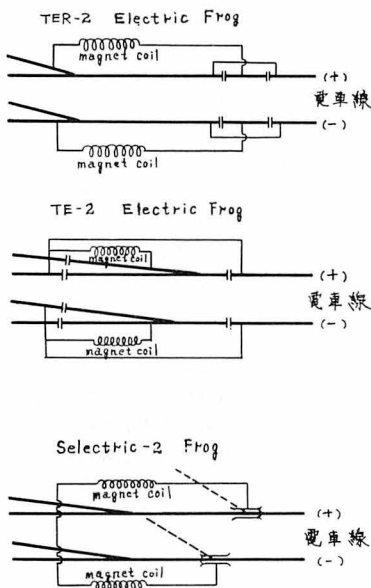
である。トロリーシューが通過しやすいよう、電車線を把持する曲線イーヤを常に垂直におくために、片方の長い腕の角度を変えて調整できるようにしてある(写真-37)。

(3) カーブ セグメントまたはカーブ ランナー (curve segments or curve runner) トロリーバスの引返し場所または車庫線の反転場所などの、電車線路の曲線部に使用されるものである。トロリーバスは軌条上を一定の円弧を画いて走行するものではないので、トロリーシューの通過を円滑にするため、電車線路の曲線部分における多角形の頂点をできるだけ大きな円弧とし、緩急曲線をもたせるのにランナーと称する鉄製のバーを用いる。現在使用されているものは写真-38・39・40に示すように、上部のフラットプレートによりランナーの円弧を調整したものと、写真-41のようにアングルの下部にイーヤを取付けて電車線を円弧にするものがある。

(4) 電気フロッグまたは可動フロッグ (electric flog or movable flog) トロリーバスの電車線路分岐箇所使用される可動式のフロッグである。路面電車は軌条の分岐によりトロリーシューを誘導するが、トロリーバスは電車線路でトロリーシューを誘導する必要があるため、軌条の転轍器のようにフロッグの先端(せんたん)を直線方向と分岐方向とに、電磁式により可動させるようにしたものである(写真-42)。電気フロッグの自動操作には図-2に示すように3方法があり、上図と中図は、分岐してゆくトロリーバスがセクションの中でノッチを入れると、電気フロッグ

2. 電気フロッグの自動操作方法と種類

のマグネットコイルを経て、トロリーバスのモーターに電車線電流が流れるので、このとき電車フロッグの先端は分岐方向へ開通する。直進のトロリーバスはセクションの中ではノッチを切って通過するのである。下図は一種のトロリーコンタクターを利用したもので、分岐するトロリーバスが分岐方向へ偏倚しながら、トロ



リーコンタクターを通過すると、トロリーシューのねじれで電車線とコンタクターがシューを通して接触するので、電車線電流により電気フロッグのマグネットコイルが動作して、フロッグの先端が分岐方向へ開通するのである。

(5) 絶縁クロッシング (insulated crossing) クロッシングは電車線路の交差箇所使用される装置であるが、トロリーバスの電車線路は架空複線式であるので、その交差には陽極と陰極との異極が交わる。また架空単線式の路面電車その他の電気鉄道との平面交差に対しても同様に異極の交差となるので、いずれか一方を絶縁する必要が。ここに絶縁クロッシングを使用するのである。絶縁クロッシングには集電子通過の際、電

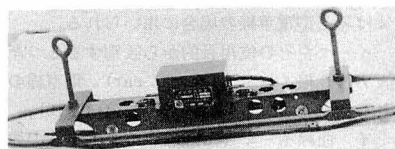
車電流をしゃ断するものとしゃ断しないものとあり、前者は写真-43のように路面電車用可整型のものと同様で、後者はビューゲル使用の電車線路とトロリーバス電車線路の交差に用い、写真-44のように一種の木樋を逆にした形で、一方は木樋の上部内側中央にトロリーバス用電車線を取付けて、トロリーシューが通過し、他方は下部両側の縁にそってスライダを取付けて、ビューゲル用電車線を接続するので、木樋の幅だけ電車線は切れていても斜交差であるから、通過の際ビューゲルで両スライダを短絡するので、電氣的に接続されるのである。両方の電車線は木樋の深さだけ上下に、絶縁されているので立体交差絶縁フロッグともいう。

(6) ウッド ストレイン インシュレータ (wood strain insulator) 曲線箇所、カーブ セグメントまたはカーブランナーを使用する場合、円弧部分の線間距離を常に一定に保持すると同時に絶縁するため使用されるものである(写真-45)。(浦島海平)

てんしゃせんせっしょくき 電車線接触器 (英) trolley contactor

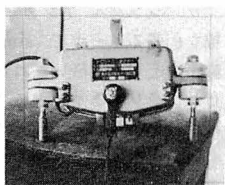
この接触器は電車線に取付ける一種の開閉器であって、電車のパンタグラフ、ビューゲル、トロリーポールがこの下を通過することにより電氣的接点を閉じ、電気回路を構成するものである。トロリーコンタクター・架空線接触器ともい軌道回路が使用できない市街路面電車のような鉄道が、信号機および転轍(てんてつ)器などを自動的に操作するために用いられるもので、その種類もつぎのようなものがある。

1 パンタグラフまたはビューゲルがトロリーコンタクターの下を通過するとき、スライダを押し上げて電氣的接点を作るもの(写真-1)。



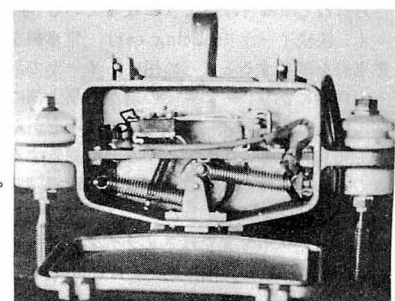
1. 電車線接触器

2 パンタグラフまたはビューゲルがトロリーコンタクターの下を通過するとき、ハンドルを進行方向へ押し上げて電氣的接点を作るもの(写真-2・3)。



2. 電車線接触器外観

3 トロリーポールが通過するとき、トロリーコンタクターを押し上げて電氣的接点を作るもの。



3. 電車線接触器内部

つぎにトロリーコンタクターの作用と、その利用方法を図-5により説明する。いま矢印の方向から電車が閉そく区間へ進入したときには、ビューゲルによってAのトロリーコンタクターのシューを押し上げて、電氣的接点を作る。これにより電気は電源の(+ )からAトロリーコンタクターの接点を通り、マグネットコイルの右を経て、電源の(- )に帰る。このときマグネットの接点は右側の点線の方に引かれ、